

■ポーランド：PGE、発電設備の更新に4.7億ドルが必要と発表

2016年8月11日の報道によると、大手エネルギー事業者PGEは、保有する発電設備の更新に最大4.7億ドルが必要になるとの見通しを発表した。今回の見通しは、火力発電設備による大気汚染物質等の排出を規制するEUの産業排出指令（IED）を2020年頃までに満たすために設備更新を行うことが主な前提になっている。PGE社が更新費用を発表した背景には、巨額の支出に対して国民の理解を促す目的があると見られる。